

阿久比町立草木小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、5月8日(月)に阿久比町立草木小学校、4年生2クラス(46名)を対象に出前講座を実施しました。

講座の狙いは、今後の総合学習で川の環境を学ぶことから、川の環境が、干潟、海へとつながっており、その先の環境にも影響があることを理解するために、藤前干潟の生き物や環境を学ぶとしています。まず干潟の仕組みと干潟に生息する多くの生き物について話した後、干潟保全の経緯とその流れから国際的に重要な湿地としてラムサール条約登録湿地になったことを紹介しました。そして現在、藤前干潟が抱える環境問題として、生物に悪影響を及ぼす漂着ゴミと、新たな海洋問題として取り上げられているマイクロプラスチックについて紹介したほか、干潟の砂泥に触れてもらったり、シジミによる水質浄化実験を行いました。

講座途中で干潟を紹介するDVDの鑑賞を行い、また、児童達は講座用に作成したワークシートを活用して、皆メモを取り懸命に取り組んでいました。今後は、身近な草木川の環境保全について児童が自らテーマを決め探求していくということで、生き物の調査やゴミの存在を意識するなど藤前干潟の自然環境を学んだこの出前講座が、その学習の一助となってくれたらと思います。

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟の生き物と歴史を知ろう！

1. 干潟ってなんだろう？
干潟の仕組み・成り立ち(砂泥の観察)
2. どんな生き物がいるの？
シジミの浄化実験
底生生物と鳥類の紹介
3. 藤前干潟の歴史
4. 現在抱える問題
漂着ゴミとマイクロプラスチック



* 出前講座の様子



* 出前講座の様子2

3) 実施概要

実施日：平成29年5月8日(土) 10:50~12:20

場所：阿久比町立草木小学校(知多郡)

対象：小学校4年生(2クラス、46名)、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所(TEL: 052-389-2877)までお問い合わせください。

2017年5月8日

名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 吉塚藍